



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月31日

上場会社名 セブン工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 7896 URL <http://www.seven-gr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 正義 TEL 0574-28-7800  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,504	3.3	55	6.4	51	8.3	33	17.2
2019年3月期第1四半期	3,393	5.6	52	△15.5	47	△14.9	28	△21.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.50	—
2019年3月期第1四半期	19.19	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,430	6,288	55.0
2019年3月期	11,871	6,285	52.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,288百万円 2019年3月期 6,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—				
2020年3月期 (予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	7,150	3.3	98	4.9	88	4.6	47	116.7	31.56
通期	15,000	2.5	330	△12.9	310	△14.8	240	2.4	161.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	1,557,750株	2019年3月期	1,557,750株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	68,860株	2019年3月期	68,860株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,488,890株	2019年3月期1Q	1,489,113株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、堅調な企業業績や雇用環境の良化が続いているものの、米中貿易摩擦など海外経済の不確実性が懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。住宅関連業界においても、新設住宅着工戸数が連続して前年同月比を下回るなど市況の不透明感が強まりつつあり、また10月に予定の消費増税を目前に予断を許さない経営環境が続いております。

新設住宅着工戸数の減少や市場の競争激化に対応するため、非住宅向けの製品開発、国産材の活用、省施工製品の拡充、物流コストの低減といった事業運営の変革を図っているなか、引き続き「変化」「連携」をスローガンに掲げるとともに企業ブランドの向上を図るため、新たに「発信」をテーマに加え、3つのスローガンのもと「成果実現」に資する施策を講じております。

内装建材事業においては、省施工階段（エコプレ）における生産体制の増強、ワンビームを中心としたデザイン階段の拡充などシェア拡大に努めております。カウンターについては、多様化する生活空間、省施工を背景とした需要の高まりを受け、事業基盤の強化を図るとともに収納製品など周辺アイテムを充実させてまいりました。このような施策を講じてきた結果、カウンター及びシート階段の受注が好調を維持したことなどにより、比較的堅調な事業運営となりました。

木構造建材事業においては、プレカット・パネル・建装事業が一体となった事業運営を推進しているなか、各々の事業の特性による相乗効果を発揮し、総合プレカット事業としての体制強化に努めております。こうしたなかプレカットについては、非住宅分野及び地場ビルダーへの営業強化が奏功し、堅調な事業運営となりました。ツーバイフォーパネルに関しては、貸家の需要低迷を背景に賃貸物件の減少が影響し低調に推移いたしました。事業部全体で受注確保に努めた結果、主力のプレカットが好調であったことから、売上高、利益とも前年同四半期を大幅に上回りました。

両事業部門とも、季節的な要因で毎年受注が落ち込む時期でありながら、堅調な事業運営となりました。しかしこれは、10月に予定される消費増税の駆け込み需要の影響が少なからずあるものと考えており、今後、緊張感を持った事業運営で臨み、期初に掲げた種々の施策を講じてまいります。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、35億4百万円と前年同四半期と比較し1億11百万円（3.3%）の増収となりました。利益面では営業利益55百万円と前年同四半期と比較し3百万円（6.4%）の増益、経常利益は51百万円と前年同四半期と比較し3百万円（8.3%）の増益、四半期純利益は33百万円と前年同四半期と比較し4百万円（17.2%）の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産につきましては、114億30百万円となり、前事業年度末と比べ4億41百万円（ $\Delta$ 3.7%）の減少となりました。これは主にたな卸資産の増加があったものの、売上債権等の減少によるものであります。

負債につきましては、51億41百万円となり、前事業年度末と比べ4億44百万円（ $\Delta$ 8.0%）の減少となりました。これは主に未払金及び長期借入金等の増加があったものの、短期借入金、仕入債務及び賞与引当金等の減少によるものであります。

純資産につきましては、62億88百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円（0.1%）の増加となりました。これは主に期末配当の実施があったものの、四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末と比べ2.1ポイント増加の55.0%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年4月26日に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784	738
受取手形及び売掛金	3,174	2,973
電子記録債権	1,678	1,580
商品及び製品	276	280
仕掛品	354	380
原材料及び貯蔵品	660	657
その他	170	92
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	7,093	6,699
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	855	842
土地	2,853	2,853
その他(純額)	547	546
有形固定資産合計	4,256	4,241
無形固定資産	122	113
投資その他の資産		
前払年金費用	206	196
その他	192	179
投資その他の資産合計	398	375
固定資産合計	4,777	4,730
資産合計	11,871	11,430
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,696	1,588
電子記録債務	639	632
短期借入金	750	300
1年内返済予定の長期借入金	495	502
未払法人税等	57	15
賞与引当金	130	65
その他	560	714
流動負債合計	4,329	3,818
固定負債		
長期借入金	1,159	1,217
役員退職慰労引当金	56	58
資産除去債務	3	3
その他	38	44
固定負債合計	1,256	1,323
負債合計	5,586	5,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	1,378	1,382
自己株式	△243	△243
株主資本合計	6,284	6,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	6,285	6,288
負債純資産合計	11,871	11,430

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,393	3,504
売上原価	2,868	2,940
売上総利益	525	564
販売費及び一般管理費	472	508
営業利益	52	55
営業外収益		
受取手数料	0	0
資材売却益	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	3	2
売上割引	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	47	51
特別損失		
固定資産廃棄売却損	0	0
P C B 処理費用	0	—
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	46	51
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	14	13
法人税等合計	18	17
四半期純利益	28	33

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。